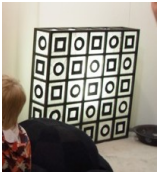
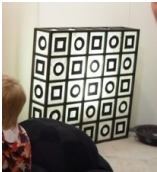


活動事例	椅子の商品化支援		
【相手先企業】	株式会社家具の八木沢、トライポッド・デザイン株式会社		
【開発の背景】	企業の商品開発活動において、光を透す椅子の開発に関する相談を受け、対象の家具製造企業とアクリル加工を得意とする企業のマッチングし商品開発に繋がりました。		
【開発の経緯・支援内容】	黒を主体とし光を透す又は背後の風景が見えるようデザインされた椅子を製作するにあたり、透過する部分にガラス又はアクリルを活用する必要があり、高度なアクリル加工技術を有する企業（株式会社アート科学）と技術的な交流を図り、技術の内製化を図りました。また、木材とアクリルの接合について、デザイン性を損なわない接合方法を検討しました。		
 図1 製作風景			
【開発した製品の紹介】	本製品は、北米最大の家具・インテリアデザイン見本市である、国際現代家具見本市 2011（ICFF）〔米国 ニューヨーク〕に出品されたのを機に受注販売が始められました。今後も海外に発信していくための製品開発が期待されています。		
 図2 製品	製品名：「LINE CHAIR」 価 格：受注生産のため応談 問合せ：トライポッド・デザイン株式会社 TEL：03-3239-5951		
基礎となった事業	技術相談		
現在の担当部門	産業連携室 室 長 大力 賢次 TEL：029-293-7212 主任研究員 寺門 秀人		

活動事例	和紙の木製照明器具の商品化支援		
【相手先企業】	安達建具店、紙のさと、YUS、トライポッド・デザイン株式会社		
【開発の背景】	企業グループの商品開発活動において、全国的にも高い評価を受けている木材手加工技術と地域特有の素材を組み合わせた照明器具開発に関する相談を受け、対象の建具製造企業と茨城の伝統工芸品である西ノ内和紙企業、漆塗りグループをマッチングし商品開発に繋がりました。		
【開発の経緯・支援内容】	格子に組まれたシンプルなフレームと和紙からなるシェードを組み合わせたデザインの照明器具を製作するに当たり、県内の建具業者、和紙製造業、漆塗りグループの3者交流を図り、商品開発に繋がりました。		
 図1 製作風景	商品は茨城産漆を用い、独自な方法で黒色に摺漆仕上げされた木製フレームをベースに、特殊エンボス加工された西ノ内和紙を配し製作されました。（図1）		
 図2 製品	製作に当たり、和紙を張付けるためのフレーム構造設計を検討しました。		
【開発した製品の紹介】	本製品は、北米最大の家具・インテリアデザイン見本市である、国際現代家具見本市 2011（ICFF）〔米国 ニューヨーク〕に出品されたのを機に受注販売が始められました。今後も海外に発信していくための製品開発が期待されています。		
 図2 製品	製品名：「LATTIS」（図2） 価 格：受注生産のため応談 問合せ：トライポッド・デザイン株式会社 TEL：03-3239-5951		
基礎となった事業	技術相談		
現在の担当部門	産業連携室 室 長 大力 賢次 TEL：029-293-7212 主任研究員 寺門 秀人		